

平成 26 年 3 月 24 日
国立情報学研究所
学術コンテンツ課

日本の学術誌の基礎的情報の調査について（報告）

1. 日本の研究論文の国際発信の動向に関する計量的分析調査

(1) 調査目的

わが国の研究論文の国際的な刊行状況に関する客観的な状況を把握するため、SPARC Japan では平成 22 年度に計量調査を行い、「日本の学術論文と学術雑誌の位置付けに関する計量的調査分析」（2010 年 12 月）を発行した。

学術雑誌に係る現状と課題を把握して今後の方策を検討するため、日本の学術研究論文について、最新のデータを用いて、最近の動向に関して計量的分析を行う。

(2) 調査内容

Thomson Reuters 社の NCR-J（National Citation Report for Japan）2007-2011、JCR（Journal Citation Reports）2011 及び既往報告書に係る統計データを用い、主要国際学術誌の発行国別の掲載論文数とその構成比と、日本の研究者の論文の雑誌別掲載数とその発行国別構成比に係る調査分析を行った。

2. 主要な高エネルギー物理学雑誌における日本の論文の掲載状況に関する統計分析調査

(1) 調査目的

SCOAP³の事業の効果的推進のために、SCOAP³ 対象誌におけるわが国の研究論文の掲載状況に関する統計的な諸指標の析出とこれに対する分析を行う。

(2) 調査内容

Thomson Reuters 社の NCR-J（National Citation Report for Japan）2007-2011、JCR（Journal Citation Reports）2011 のデータを用い、SCOAP³の対象雑誌 12 誌における日本の論文の数と全体での比率と、それら論文の我が国の主要機関別の数と構成比に係る調査分析を行った。